

令和7年度 第1回サムデイワルツ運営推進会議議事録

グループホームサムデイワルツ

施設長 中川 幸生

開催日時 令和7年5月30日（金） 14時～15時

開催場所 グループホームサムデイワルツ2Fホール

出席者 民生委員 吉田 富保氏

持宝寺 高松 民雄氏

くるみ保育園 盛 セイ子氏

地域包括支援センター 井上 真由氏

入居者家族 炭田 龍男氏

徳島県立防災人材教育センター 長江 秀樹氏

職員 中川幸生、毛利紀夫、進藤美栄子、高畠節子

議題

1. 施設長挨拶

サムデイワルツ問題なく、順調に運営しております。

2. 出前講座

講師：徳島県立防災人材教育センター 啓発・人材育成担当 係長 長江秀樹氏

資料配布：「徳島県公式LINE」・「家族会議チェックシート」・「防災にムチュウ人！！」

・徳島で想定される地震（南海トラフ巨大地震～海溝型地震、

中央構造線の活断層による巨大地震～内陸型地震）

・今できる備えとは？地球の営みの中で、災害より人災の方が多い。

・「家族防災会議チェックシート」⇒家族継続計画（FCP）家族で話し合いをしよう！

日常生活の当たり前の中にある。去年の1月1日に能登半島地震が起こった。

防災は、我こととして、捉える。

①避難持ち出し袋⇒一日分用意。②備蓄品。③一日に必要な水⇒3L

◎日本は、どんな国？⇒いつ、何が起きても不思議でない国に我々は、住んでいる。

①液状化⇒震度5以上で、水洗トイレは、使えない。②ブロック塀の倒壊

③避難⇒気温により避難が変化する。避難場所の確認。

④避難所⇒給水⇒役割分担⇒仮設トイレの設置

① 耐震化②備蓄③ガラス飛散防止フィルムはり④家具固定⑤ハザードマップ
避難場所・避難所

*危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。家族の集合場所を決めておきましょう。

◎徳島県公式LINE⇒ご家族みんなで今すぐ登録を！

⇒地震や台風などの災害時に最新の情報を入手して命を守ろう！！

防災訓練は、必須。いざという時に正しい判断。

自分で出来る事は？

地域で出来る事は？

いつでも動ける身体を作る。助ける身体を作る。

3. 報告事項

職員から資料を基に説明

①入居者利用状況について②職員関係について③入居料等について

4. ヒヤリハット及び事故報告について（令和7年4月～令和7年5月）

転落～3件 事故無し

5. 行事報告について

① お花見：4月3日（木）鳴門 妙見山～天気も良く、桜も満開。

②お出かけ：5月18日（日）～小松海岸へドライブ。気分転換が出来た。と好評でした。

6. 社会貢献活動について

① 4月6日（日）住吉公民館に資源ごみ持参

② 4月7日（月）住吉公民館トラックに資源ごみ積み込みお手伝い。

7. 研修報告について

① 4月：ハラスメント対策について～資料添付～要約読み上げ。

② 5月：身体拘束の適正化・虐待防止について～資料添付～要約読み上げ。

8. 企画事項

① 6月：お楽しみ会～紙芝居とマジック

② 7月：七夕会

9. その他

①コロナ体験記について～体験記読み上げ。

②重要事項説明書の変更について～資料添付～読み上げ。

防災出前講座

令和7年5月30日



令和7年度 第1回サムデイワルツ運営推進会議出席者名簿

日 時: 令和7年5月30日(金)14:00～

No.	氏 名	所 属 又 は 住 所	
1	吉田 道保	川村 民生委員	
2	兼田 龍雄	徳島市上八丁町 674	
3	笠 山 一	徳島市西ノ町 大和 1646	
4	井上 真由	徳島市地域包括支援センター	
5	高松 松太郎	志那町古川	
6	長江 秀樹	徳島県防災人材育成センター	
7	中川 幸生	サムデイワルツ 職員	
8	毛利 紀夫	//	
9	進藤 美栄子	//	
10	高田 節子	//	
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			

令和7年度 第1回サムデイワルツ運営推進会議会次第

日時：令和7年5月30日（金）14：00～

場所：グループホームサムデイワルツ 2F ホール

1. 開 会

2. 施設長挨拶

3. 防災出前講座

テーマ：防災の基本

講 師：徳島県立防災人材育成センター

啓発・人材担当係長 長江秀樹 様

4. 報 告

1) 入居者利用状況について

2) 行事報告について

① 4月3日：お花見（妙見山）

② 5月18日：お出かけ（小松海岸）

3) 研修報告について

① 施設内研修：ハラスメント対策について（4月）

身体拘束の適正化・虐待防止について（5月）

② ヒヤリハット件数について

③ 社会貢献活動について

5. 企 画

1) 行事企画

① 6月：お楽しみ会

② 7月：七夕会

6. その他

① コロナ体験記

② 重要事項説明書の変更について

7. 質疑応答

8. 閉 会



I 報告事項

1. 入居者利用状況について（令和7年5月1日現在）

居室数 18室 入居定員18名（空部屋 1）
現在17名（男性7名 女性10名）の方が入居されています。
最高年齢者101歳 要介護③、最低年齢者72歳 要介護②

1) 介護度別人数他

要介護①	3人
要介護②	5人
要介護③	4人
要介護④	4人
要介護⑤	1人
平均年齢	86.1歳
平均介護度	2.7

2) 入所期間別

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上
1階	2人	3人	3人	3人	0人
2階	3人	0人	3人	0人	0人
合計	5人	3人	6人	3人	0人

2. 職員関係について

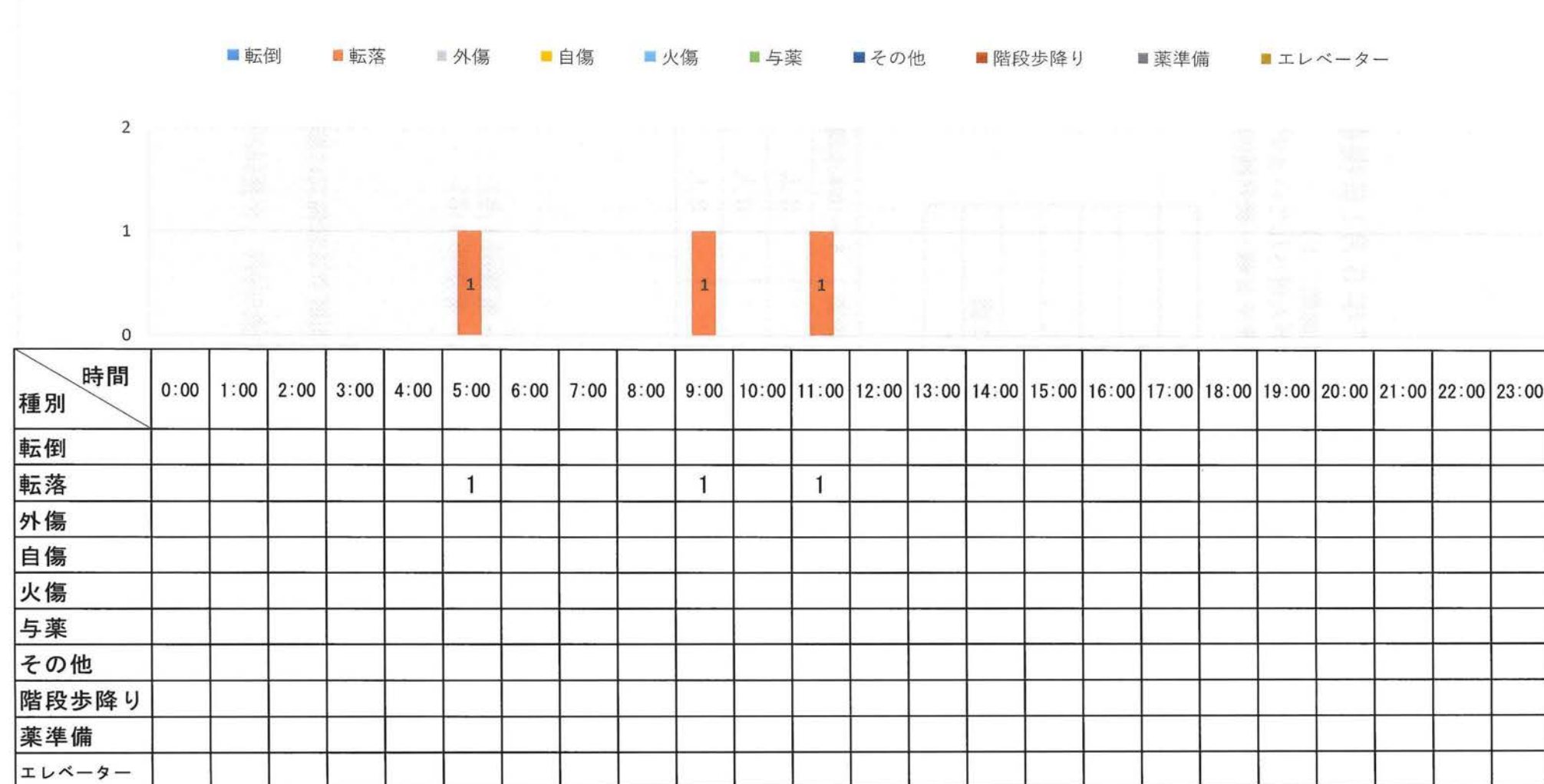
- ✧ 施設長 1名（介護職員兼務）
- ✧ 管理者 1名（介護職員兼務）
- ✧ 計画作成担当者 1名（介護職員兼務）
- ✧ 介護職員 常勤8名（介護福祉士5名・看護師1名）
非常勤5名（介護福祉士2名・看護師1名）

3. 入居料等について

- ✧ 家賃 29,000円/月又は1,000円/日
- ✧ 管理費 440円/日（共同で使用又は利用する設備又は施設の運営及び維持に関する費用。水道光熱費他）
- ✧ 食費 1,650円/日（朝食385円 昼食550円 夕食550円 おやつ165円）

4. ヒヤリハット及び事故報告について（令和7年4月～令和7年5月）

① ヒヤリハット



② 事故報告

当該月は無しです。

5. 行事報告について

① お花見：4月3日（木）

今年は鳴門の妙見山へお花見に行きました。天候もよく、桜も満開であった。
記念写真を写しました。

② お出かけ：5月18日（日）

小松海岸へドライブに出かけた。入居者様は車から降りることはなかったが、気分転換ができたと喜ばれていました。次回もドライブを希望する声がありました。

6. 社会貢献活動について

◎社会貢献活動

4月6日（日）住吉公民館に新聞・段ボール箱など持参

4月7日（月）住吉公民館に資源ごみ積み込み手伝い

また、配分金は地域福祉活動のために役立たせて頂きます。皆様のご協力ありがとうございます。

7. 研修報告について

① 施設内研修

4月：ハラスメント対策について

5月：身体拘束の適正化・虐待防止について

II 企画事項

1. 行事企画について

① 6月：お楽しみ会

② 7月：七夕会

III その他

① コロナ体験記について

② 重要事項説明書の変更について

4月施設内研修

ハラスメント対策について

ハラスメント防止対策に関する指針

目的 ハラスメント防止に関する指針

内容 ハラスメント防止に関する指針

1. 基本的な考え方

事業所は、利用者に対してより良い介護サービスを提供できる環境確保
現場で働く職員の安全を確保し労働環境を整備する

2. ハラスメントの定義

- ①セクシャルハラスメント 性的な冗談、からかい、質問も含む。
- ②パワーハラスメント 職務上の地位等の優越的な関係を背景にした言動
人間関係上の仲間外れ、無視も含む。
- ③妊娠、出産、育児、介護等に関するハラスメント
- ④ カスタマーハラスメント 利用者その家族から職員への不合理な要求

3. 職場におけるハラスメント対策

- ◎日頃からの正常な意思疎通に留意。
- ◎防止のため年に1回は、ハラスメント研修を行う。

所感・・・加害者だけでなく、被害者にもなってしまう可能性もあるということ
を肝に命じて行動をしなくては、ならない。広い視野を持ち、目の前の
事柄を判断しないように、周りに流されてしまわないように。

添付資料 《ハラスメント防止に対する指針》

5月施設内研修

身体的拘束に関する基本的考え方

目的：身体的拘束に関する基本的な考え方

内容：『身体拘束ゼロ』対策マニュアル

【具体的な行為】

- ・徘徊しないように車椅子やベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
- ・転落しないようにベッドに体幹や四肢をひも等で縛る
- ・自分で降りられないようにベッドを柵で囲む
- ・点滴、経管栄養などのチューブを抜かないよう、皮膚を掻きむしらないよう、
- ・手指の機能を制限するミトン型の手袋をつける
- ・車椅子や椅子からずれ落ちたり、立ち上がったたりしないよう Y 字型拘束帯や、
- ・腰ベルト、車椅子ベルトを付ける
- ・立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する
- ・脱衣やおむつ外しを制限するために、介護着を着せる
- ・他人への迷惑行為を防ぐ為にベッドなどに体幹四肢を縛るなど

所感：緊急かつ一時的に拘束の必要性が、ある場合は、その時の状況や時間等詳細に記録し、早急に代替的な方策について検討会を実施する。

添付資料 身体的拘束等の適正化のための指針

III その他

①コロナ体験記について

【コロナになってわかったこと】

はじめに

サムデイワルツにコロナウイルス（以下コロナ）が入ってくるまで、私自身はコロナには感染しないだろうと思っていました。

また、コロナ感染も2類になって感染初期の過熱も薄らいでいましたし世間での感じ方も変わってきていました。

日常生活では施設職員として、人込みを避ける、会話は間合いを取るなどの予防的なことは行っていました。しかもコロナの感染状況も下火になりつつあります感染することはないだろうとの気持ちが強かったです。

感染が始まった

感染が判明した日は休日明けで普段どおりの業務を行っていました。その時に休日職員にコロナ陽性反応が出て感染していることを知りました。

意外な感じがしました。常日頃からコロナ対応はしっかりしている施設職員なのにどうしてと思ってしまいました。わたしの想定では、外部と接触する機会が多い職員の持ち込み、あるいは来訪者が持ち込むの2通りが考えられますが、今回はどうして？

詳しく状況を聞き取ると大まかな概要がわかってきました。今回は後者と判明しました。

このため、次の対策としてすぐに感染症対策に基づく対応を順次実施しましたが時すでに遅しとなっていました。感染元者から職員への感染は把握できていたものの、利用者に感染している事実を捕まえることができていなかったため、出勤した職員はすでに業務を始めていて当該利用者との接触をしていました。

後から思うと感染後の数日は症状が出ないこともわかっていたのに。

早々検査キットでの検査では陰性でした。翌日も陰性でした。しかし、翌々日になって早朝の検査キットで陽性となり、他者との接触をなくして帰宅し自宅療養となりました。

感染後の症状と対策

陽性反応の確認された当日は特段体調の変化もなく自宅で雑用を行っていました。しかし、その夜に37.5度の発熱がありました。このため、自宅にありました風邪薬（パブロン）を3錠飲んで寝ておりました。症状としては少しだるい状況でした。翌日は37度から37.5度前後の発熱が続きましたので昨日に続いて風邪薬を飲み安静にしていました（テレビを見ていました）。3日目にもなると熱も下がり体調も戻りましたので、追い打ちの風邪薬を飲み家の雑用をこなしていました。

5日経過後

他者への感染が懸念されるため5日間は自宅での待機を行いましたが、6日目からは業務に復帰しました。

すると感染の元と想定される利用者を始め、他の利用者数人の感染が確認されました。施設では感染時の緊急対応を行うとともに拡大防止に努めていました。しかし、陽性反応が続き終息までの対応には職員はじめ全員の尽力知力が求められました。

まとめ

今回のコロナ感染から見えてきたものは、空気感染の感染力の強さには驚きました。続いて、集団生活上での防御の難しさを感じました。必須とされている感染予防3対策に向けての取り組みも集団生活においては完全に担えないものだと感じました。特に空気感染の場合は非情に難しいし認知症状のある方への対応はさらに難しいと感じました。

お花見

令和7年4月3日(木)
鳴門 妙見山

